



セミはどれくらいの^{あいだ} ^{つち} ^{なか}の間、土の中にいるの

セミは土の中の^{つち} ^{なか} ^{ようちゅう} ^{じだい} ^{なが}幼虫時代が長い

セミは、たいてい、2～3週間^{しゅうかん}ぐらいしか生きていません。とても^{みじか} ^{いのち}短い命ですが、じつは、土の中^{つち} ^{なか}にいる幼虫時代^{ようちゅう} ^{じだい}が長い^{なが}のです。土の中^{つち} ^{なか}に何年^{なんねん}生活^{せいかつ}しているかは、セミの^{しゅるい}種類^{しゅるい}によってちがってきます。

アブラゼミは、^{おや} ^{たまご} ^き ^{かわ} ^{した} ^う親^{おや}が卵^{たまご}を木の皮^きの下^{した}に産^うみつけてから、1年^{ねん}後^ごに卵^{たまご}からかえって、^{ようちゅう}幼虫^{ようちゅう}になります。幼虫^{ようちゅう}は、土の中^{つち} ^{なか}にもぐっていき、およそ5年^{なんねん}間^{かん}、木^きの根^ねから^すしる^すを吸^すって、^{せいちょう}成長^{せいちょう}していきます。5年^{ねん}後^ごに、^{つち} ^{なか} ^でやっと土の中^{つち} ^{なか}から出^でてきて、^{そら} ^と ^{まわ} ^る ^ように空^{そら}を飛^とび回^{まわ}れるようになります。

17年^{ねん}間^{かん}も土の中^{つち} ^{なか}ですごす^{つち} ^{なか}セミもいる

ニイニゼミは、4年^{ねん}間^{かん}、土の中^{つち} ^{なか}に^{きた}いることがわかって^{きた}います。北^{きた}アメリカに^{きた}いる^{きた}ジュウシチネンゼミは、^{せいちょう}成虫^{せいちょう}になるまでに17年^{ねん}かかると^{ちゅう} ^{なか}いわれて^{ちゅう} ^{なか}います。こ^{ちゅう} ^{なか}ん虫^{ちゅう}の中^{なか}では、^{おや} ^{じかん} ^{しゅるい}い^{しゅるい}ちばん、親^{おや}になるのに^{じかん} ^{しゅるい}時間^{じかん}がかか^{しゅるい}る種類^{しゅるい}といえ^{しゅるい}そうです。

アロエで^{せいちょう} ^{はや}セミの^{せいちょう} ^{はや}成長^{せいちょう}が速^{はや}くなる

^{さいきん} ^{けんきゅう} ^{やくそう} ^{ゆうめい}最近^{さいきん}の研究^{けんきゅう}で、薬草^{やくそう}としても有名^{ゆうめい}なアロエという^{しよくぶつ} ^う植物^{しよくぶつ}を植^うえたはちで、^{ようちゅう} ^かセミの^{ようちゅう} ^か幼虫^{ようちゅう}を飼^かうと、アロエの^す ^{そだ} ^{ようちゅう} ^{はや} ^{つち} ^{なか} ^でしる^すを吸^すって育^{そだ}った幼虫^{ようちゅう}は、ふつうより^{はや}早く、土の中^{つち} ^{なか}から出^でてくる^{きかん} ^きことが^{きかん} ^きわかりました。このこと^{きかん} ^きから、^{ようちゅう} ^{つち} ^{なか} ^{きかん} ^きセミの^{ようちゅう} ^{つち} ^{なか}幼虫^{ようちゅう}が土の中^{つち} ^{なか}に^{きかん} ^きいる^{きかん} ^き期間^{きかん}は決^{きかん}ま^きっているわけ^{きかん} ^きではなく、^{しゅるい} ^{ばしょ} ^{すこ}えさの^{しゅるい} ^{ばしょ}種類^{しゅるい}や、えさの^{すこ} ^{すこ}ある^{すこ}場所^{すこ}によ^{すこ}って、少^{すこ} ^{すこ}しちが^{すこ} ^{すこ}ってくるらしい^{すこ} ^{すこ}ことが^{すこ} ^{すこ}わかりました。
(監修・中山 周平)

